

つばき便り (号外)



～ 特集 2019 長崎県代表選手から一言 ～

◆ 第17回ピンクリボンテニス大会 全国決勝大会 (10月14日～16日 神奈川県)

★もっと強くなって、またここに戻ってきたい！

試合の直後はもちろん、帰ってきてからもその気持ちは強くなっています。代表が決まって練習もしてきたつもりでしたが、やはり相手も厳しい予選を勝ち抜いてきた方々、簡単に勝利を得ることはできませんでした。一番の大きな敗戦の原因は、自分のイージーミスの多さ。ペアにも迷惑をかけてしまい、申し訳なかったです。他県の試合を見ている、簡単なミスをしている人はほとんどいません。それが全国レベルなのだと感じました。一方で、ボレーやスマッシュなど、駆け引きの中で、自分たちの攻めるプレーが通用する部分もありました。二人で戦うんだ！という気持ちがあったからか、ひどい緊張をすることはなく、落ち着いた気持ちでプレーできたのは自分にとって大きな自信になったと思います。負けたことも含め、本当にいい経験をさせていただきました。応援してくださった皆さん、本当に心から感謝しています。ありがとうございました。これからも頑張ります。

一般の部代表 松林麻耶

★大会を終えて

第17回ピンクリボン全国大会に一般代表として参加させていただきました。

1回戦の相手は新潟、ジュニアのような若手のボールをコントロールできず、終始相手のペースで進み、いいプレーもあったものの、ポイントには繋がらず負けてしまいました。

初めての全国大会はとても苦い思い出となりましたが、ペアの方と最後まで笑い合っただけで楽しかった事が何よりの成果だった思い、また精進していきたいと思います。

今回応援してくださった皆様、サポートくださいました皆様に感謝致します。ありがとうございました。

一般の部代表 志賀郁子

★代表になって、感じたこと

いつかは、出たいと思っていた全国大会の代表になり、自分なりに練習を積んで試合に臨みました。全く歯が立たないのではないかと、緊張はしないだろうか、と不安に思いながら、藤沢に到着。みんなと行事をこなしながら、段々と落ち着き当日を迎えることができました。

試合前の相手との5分間練習でも良い感じで打って、緊張しながらも集中することができました。が、2-0で迎えた第3ゲーム。自分のサービスゲームの時、急に固くなりボールがコートに入らなくなりました。全く打てずに、ペアが頑張ってくれている横で、どうしても調子を上げることができない。相手は、卒なく自分達のパターンで、点を取ってくるのに、自分はミスばかりしてしまう、悪循環。結局、3-8で敗れてしまいました。悔しくて涙も出ない程でした。みんなにも申し訳なく、ただただ不甲斐ない結果となってしまいました。

自分のメンタルがこんなにも弱いとは思いませんでした。せめて、自分の出来る事は出し切りたかったと思いました。しばらくは落ち込みましたが、この経験をもとに普段の練習から意識を変えて、自分が出来る得点のパターンを確立したいと思います。そして、またチャレンジしたいです。

50歳以上の部代表 岩高文子

★ピンクリボン

予選大会からスタッフの皆さま方には大変お世話になりました。全国大会では他県の試合も観戦してきました。特に千葉vs栃木戦は、感動しました。8人とも同じような実力で、どちらが勝っても文句なしの素晴らしいプレーをされていました。

日頃培ったものが全国大会で、どれだけ発揮できるのか自分を試す機会にもなります。また、全国大会を経験されてない方は、是非頑張って出場してほしいです。それから、東京の方とお話しした際に教えて頂いたお言葉があります。『技、心、体』これが揃うことは重要だと。とても意味が深いお言葉で、色々と考えながら長崎へ戻って参りました。皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

50歳以上の部代表 須藤れいこ

◆ ソニー生命カップ第41回全国レディーステニス大会 (11月6日～9日 東京都)

★大会を終えて

今回私は去年の40回大会に続き二回目の全国レディースへの挑戦をさせて頂きました。昨年は初参加で何も分からず経験者の方々に助けてもらいながらなんとかやり終えることができましたが、今回は本戦を迎えるまでの流れなどがある程度分かったので少し気持ちにゆとりを持って過ごすことができました。初戦三重県との試合は3-6、1-6と完敗でした。ただ自分の技術は去年と比べても向上出来ていなかったの、努力が足りなかったと反省しています。大会を終えて、自分に何が足りないかを強化すればよいか明確になったので、これから1年間かけてその課題を練習していこうと思っています。最後に予選から五県合同、全国大会までの間、女子連の方々、周りの友人にいろんな面でサポート頂きましたことを心から感謝致します。ありがとうございました！

山本真奈美

★貴重な体験

初戦で負けてしまったので、翌日開かれたプロコーチによるレッスンに参加しました。

コーチの挨拶のなかで、「残念ながら負けてしまったから、このレッスンを受けられているわけですが(笑)、このレッスンを受けたという事は、また来年この大会を目指して頑張れるということです！」とありました。(ベスト4以上になると永久追放され試合の出場資格がなくなります)周りを見ると皆さん本当に上手で何故この場にいるのかな？と思っていましたが、レッスン後に本戦を見ていたら、勝ち残っている人達はやはり凄かったです。

来年の目標は「もう一度昭和の森テニスコートへ！！」です(^_-)-☆

松山奈央

★全国レディースを終えて

対戦相手の三重県ナンバー2の選手は、赤い髪・重いボールを打ちそうな体格で会場でもひときわ目立っていました。これが全国かぁ…と思いながら、試合ではなぜか腰が座り、ボールに喰らい付いていくことができ、4-1アップにまではなれたのですが、負けてしまいました。でも、自分の中ではキセキが起き、重いボールもなんとか返せ、追い出されたボールも走って角に入れるショットが打て、自分が持っているものは全て出し尽くしました。それも、代表になってからの2ヶ月間、多くの方に練習に付き合っただけ、アドバイスを頂き、皆さんの温かい後押しのお陰で、大舞台で自分を出せたのだと思っています。多くのことを経験し学べ、渡邊さん・全レメンバー・他すべての方に感謝です♪

岩田紀恵美



★大会を終えて

長崎に来て1年、ペアの力もあって今回初の全レ長崎代表になれました。昨年まで宮崎代表として何回か行かせて頂いているので全レの雰囲気はよくわかっているつもりでしたが、全国では、それぞれのペアの特徴を生かしたポイントの取り方や戦術などができないとなかなか勝てないと痛感しました。初戦は今回3位の三重県でしたが、3ペアそれぞれがペアなりの戦い方ができていて強かったなと言う印象です。ただ、全く勝てないと言う感じでもないの、あと1つの強さを自分が持てたら、、と思いました。チームの皆さんは明るい方ばかりで、3日間とても楽しく過ごすことができました。監督にも優しく色々と励ましてくださって感謝しております。またこれから自分の課題を意識しつつ練習しようと思っています。

渡邊信子

★大会を終えて

全国で戦えた事で目標ができ、さらに練習が楽しくなりました！ハードコートで出来たことも良い経験でした。改めてサーブがもっと上手かったらなと思いました。プロの方から教えてもらえる企画もステキでした。ワンポイントアドバイス忘れません！他県の試合を見ていると、良く拾うのでポジショニングをとにかく見ていました。ロブの使い方も上手で返し方も上手い、皆さん上のボールが強いなと感じました。本当に強くなりたいと思える全国大会でした！

森由利子

★観戦して思った事

強いチームは攻める球を見逃さない、そしてアレーコート積極的に使っていました。帰ってきてからの練習でも「もっとアレーコートを使おう！」と早速意識してやっています！

昨日の敵は今日の友！3ペアが団体戦の仲間として戦うのも新鮮でした！

何もわからず着いていくばかりでしたが皆さん優しくて3日間楽しかったです🎵 ありがとうございます。

森彩花

◆ 第34回九州ブロックレディーステニス大会（11月20・21日 熊本県）

★来年リベンジします！

今回、初めて一般の代表になりましたが、悔しい大会となりました。

初戦から足を痛めてしまい、普段通りのプレーができず、負けてしまって、みんなにも申し訳ない気持ちでしたし、とても悔しかったです。いろんな方からアドバイスを頂き、他県のレベルの高い試合も見れて勉強になりました。技術的にも精神的にも実力不足を実感しました。

これから一年かけて強くなり絶対来年リベンジします！

一緒に出た皆さん、このメンバーで出れて良かったです。支えてくれてありがとうございました。

引率の平山さん、永野さん、熊本まで応援に来てくださった皆さん、ありがとうございました。

一般の部代表 松本彩花

★皆様に感謝

今回、2度目の九州大会でした。自分の力が出せずに悔しい思いをした試合。攻めて思いっきりプレーができた試合。反省点がたくさんありますが、得たものも大きく、とても貴重な経験ができました。これも九プロメンバーや、支えていただいた皆様のおかげです。ありがとうございました。また、遠方まで応援に来ていただき、適切なアドバイスを下さったり、防寒具等を貸していただいたりと、嬉しさでいっぱいでした。感謝、感謝です。本当にありがとうございました。

一般の部代表 永井恵美子

★九州ブロックレディース大会初挑戦

今回九州ブロックレディーステニス大会の代表として挑戦させていただき本当にいい経験になりました。10月に行われた予選から11月の九州大会までチームのみんなで練習会をしたり全てが初めての事でしたがチームの先輩方や女子連の皆様のサポートのおかげで最後まで思いきり戦うことができました。抽選での初戦は佐賀県。No.3が1つ取り、No.2が落とすとしてしまい、必ず勝利すると気持ちを奮い立たせて挑みましたが、1-1になりタイブレークでリードしていたにも関わらず負けてしまいました。6人で目標としていた初戦突破は残念ながら達成できませんでした。翌日の大分戦も負けてしまい団体戦としての勝利は最終戦のみでしたが、3ペアともが勝つ喜びも苦い敗戦も味わい選手同士だけではなく長崎から足を運んでくださった役員の皆様をはじめ、長崎の応援団の皆様のおかげにとっても元気やパワーをもらい本当に感謝しかありません。今回の挑戦を経て次の階段に上がるためにまた努力を続けていきたいと思えます。今回の大会にあたり、女子連の方々、練習会でお世話になった方々、沢山の応援、激励のお言葉を頂き本当に有難うございました。 一般の部代表 熊脇萌々子

★3度目の挑戦

今回は3度目の代表として臨みました。

緊張のあまり、何もできずに終わった初挑戦。2度目は、本戦で敗れましたが、コンソレは好調で何をやっても上手くいきました。今回、本戦ではまた苦手なタイプに敗れ、気持ちを入れ換えてコンソレを戦いました。やりにくい相手と思うようにできなかったなりに、考えてプレイした結果、勝ちきることができました。

3度の挑戦で、自分なりに少しは成長したのかな、と思いますが、もっとできるようになりたい、と思うところがたくさんありました。まだまだ精進です。応援してくださった皆様、共に戦ったみんな、ありがとうございました。 一般の部代表 内山久実

★大会を終えて

「このために頑張ってきた本当に良かった」と感じて大会を終えることが出来ました。2人で練習や試合を重ね、苦手を克服する努力など、ペアとして足りないものを埋めるために多くの時間を費やしました。周囲の方々からもアドバイスや応援などといった協力を多数いただき、確実に私たちの力とすることができました。本大会の3セット目、ポイントを離され、気持ちも落ち込みかけていた時のベンチコーチからの声掛けが私の心に響き、徐々に追いつき、9-8のマッチポイントで私のサーブが回ってきました。「絶対、リターンが前衛に上がってくるようなサーブを打つから、それを決めてね!」と願い、その通りとなり勝利しました。このプレイに私たちの半年間が集約されていたような気がします。周りの方々の応援の力、これまで以上に感じる事ができ、これから更に頑張っていこうと思えるステップとなる大会になりました。ペアを始め、たくさんの方々に感謝しています。ありがとうございました。

一般の部代表 中嶋幸

★挑戦はこれから!

本戦は、全く緊張せず、今の私に出来ることを出せました。それは、共に頑張ってきたペア、代表となったメンバーとのコミュニケーション、コーチングに入ってくれた監督、練習に付き合ってくれた方々、応援に来てくれた方々のおかげでした。人の大切さを実感しました。

本戦で勝ったもののコンソレで負け、本当に悔しい思いをし、来年は優勝目指すという気持ちを持ちました。今回感じたのは、周りの方々のおかげで、成長できたなという感謝です。

まだ私の挑戦はこれからです。長崎のテニス界を皆で活性化して、上を目指していきたいです。本当にありがとうございました。 一般の部代表 田中 圭

★大会を終えて

本年度、九プロベテランの部長崎代表として、九州大会に出場させて頂きました。団体戦のメンバーに恵まれて、結果4位でしたが、勝利に貢献できなかった事は、大変申し訳なく思っております。

またこの大会に出場できる様、今回の反省と課題を今後の練習に生かしたいと思います。

今回大変お世話になりました、ペアの齋藤さん、団体メンバーの皆様、女子連長崎県支部の皆様から感謝申し上げます。

ベテランの部代表 藤原登代美

★嬉しかった声援

一勝も出来なくて実力不足を突きつけられた大会でした。が、一つだけ嬉しいショットがありました。これまで出会ったことのない素晴らしいシコラー選手が相手の試合でした。苦しいラリーが永遠と続く中、ストレートでの打ち合いをしている時です。コースを変え、前衛のサイドを抜くショートクロスを打ちました。ラリーが切れるとともに長崎メンバーの、「45球でしたよー」との声援と拍手が聞こえてきました。数えていてくれてありがとう！疲れが一気に吹き飛んだ瞬間でした。

ベテランの部代表 齊藤みゆき

★初めての九プロ代表

とにかく泥臭くても、勝ちきる事を目標にしました。決して歯が立たない相手ではなかったのですが、競り合ってから1ポイントが取れません。いつも決まるショットも簡単に切り返され、自分の詰めめ甘さや未熟さを思い知らされました。頭を使い、体を使い、相手を動かし、決めボールは軽く送り込む。そして対戦相手に「上手い！」と唸らせる。そんなプレーヤーになると心に刻んだ大会でした。

ベテランの部代表 大久保真弓

★大会を終えて～来年もがんばります！～

今回ベテランNo.2で参加しました。試合ではミスをして落ち込まない！下を向かない！と前向きにプレー出来たと思います。ただ勝てないのは実力不足でしかないので、出来る事を増やしていく為に、基礎練習に励みたいです。心に残ったのは応援団が言っていた「我慢と勇気」です。深～い言葉。強いペアはそれが実践できている様に見えました。参加した皆さんと楽しく大会を過ごせた事に感謝して、来年も代表になれるように頑張りたいと思います。

ベテランの部代表 小松郁子

★大会を終えて

今回で3回目の九州大会、一緒に練習して下さった皆さん、多くの人の支えが有り、おかげでここまでこれました。感謝の一言です。テニスを通じていろんな人と出会えて、このような機会に恵まれ幸せでした。

まず初日の勝利を目標とし勝った喜びは貴重な思い出となりました。1ポイントを確実に取る難しさを痛感し悔しい思いもしました。他県との差を感じたことでまた目標を持ち練習したいと思います。

熊本まで応援に来て下さった方々の声援のおかげで楽しくプレー出来ました。女子連のスタッフのご尽力に感謝致します。ありがとうございました。

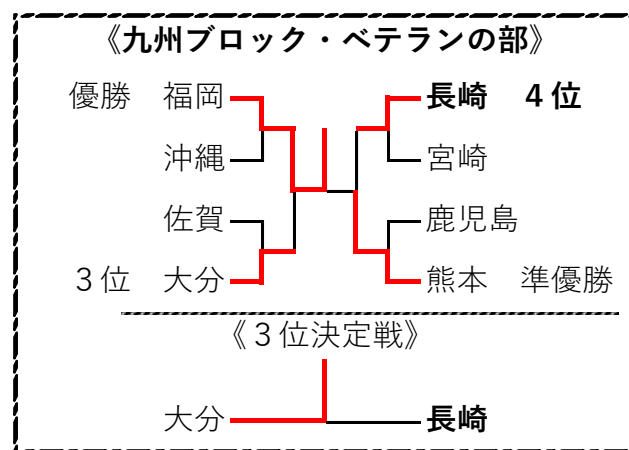
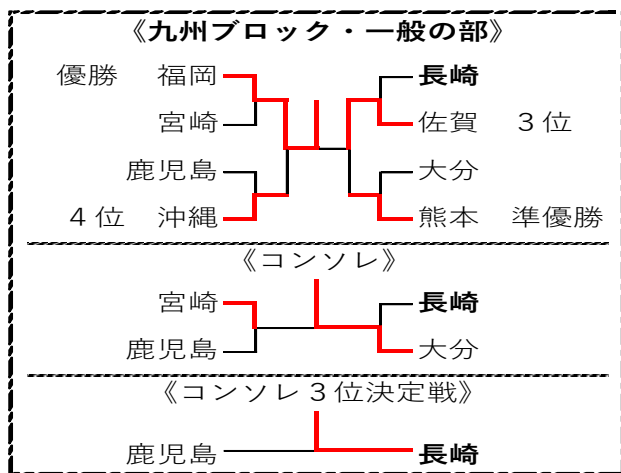
ベテランの部代表 山下明美

★大会を終えて

私達ベテラン組は初戦に勝って本戦に行き、4位に終わって悔しかったです。他県と対戦してノーアドになった時のポイントの取り方、組み立ての仕方の考えかたの勉強をさせられました。昨年と違って他県はかなり強くなっていましたので、長崎県としても強化をする必要があると思いました。

ベテランの部代表 上戸仁美

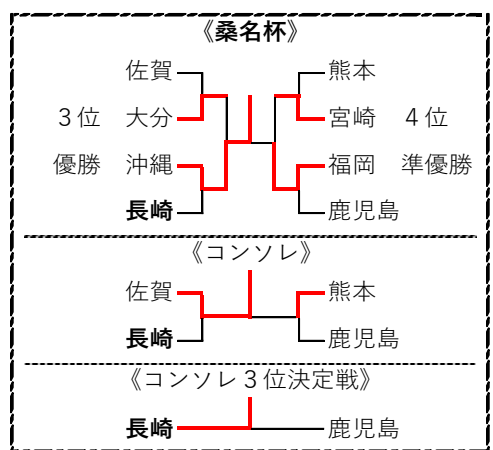
《九州ブロックレディーステニス大会：結果》



◆ 第11回九州地域桑名杯大会 (11月20・21日 熊本県)

★応援の力
九州大会。初めての代表・初めての県外の試合。
右も左も分からず心細く不安な中、試合中届いた大きな声援。
わざわざ遠方から観に来て下さった先輩方の声は涙が出るほど心強く、改めて応援の有難味を感じた大会でした。
山下香織

★貴重な体験
今回長崎代表として桑名大会へ出場し、桑名代表は1回しかないため悔いが残らないような試合をしたかったのですが、結果的に一生忘れられないような悔しい試合となりました。ただ、この結果があったことで私のこれからのテニスをするにあたってこの悔しさをバネに、より一層練習に励みたいと思えるようになりました。今回は残念な結果でしたが、この大会の出場がなければこの様な気持ちにならなかったと思います。とても貴重な体験をさせていただきました。
居石真理



◆ 第11回クレストレディーステニス byカーブス (11月27日～28日 大阪府)

★大会を終えて
女子連の最高峰の大会と言われるだけあって、私達は1回戦の山形に8-0で勝ったものの2回戦徳島に4-8で敗れ、2日目の親睦試合で全敗！足元にも及ばず、今の私のテニスでは全く通用しないと痛感しました。勝ち抜かれた試合を見て、勉強出来た事が何より心に残る大会でした。
夜の懇親会は、同席だった各県の代表の方達と、密に最高に楽しい時間を過ごしました。この機会を与えて頂いた事に深く感謝し、これからも精進してゆきます。
峰 洋子

★クレストテニス大会の代表になって
今年、11月27・28日に大阪府・万博テニスガーデンで開催された第11回JLTFクレストレディーステニス大会の60歳の部に県代表として参加しました。
今回は代表としての久々の試合だったので、緊張の連続でした。本戦で1回戦の山形県には8-0で勝ちましたが、2回戦の徳島県には4-8で敗れ、3回戦へは進めませんでした。大会で上位を目指すには日々の練習とともに、本戦に向けた準備や体調管理などをしっかり行っていく必要があると強く感じました。最後に、ご支援頂いた関係者の皆様にお礼を申し上げます。
岡田智子